

●遊び

○74

遊興兒童(H25/7/15作)

(仄起式 押韻は、平声一「東」である。)

新座市の放課後子ども教室に参加しての所懐である。子供達の健全発展に寄与しうることは小生の喜びでもある。彼等の将来に期待したい。

子女欣々満学宮
興声窓外舞微風
相和巖競同門友
立志高翔十里童

○62

樂紅白蠟梅於宝登山(H23/2/26作)

(平起式 押韻は、下平声十二「侵」である。)

本日家内と共に久しぶりに徒歩にて宝登山に上り、紅梅、白梅そして蠟梅を楽しんで参りました。眼下には秩父を望み、遠方には秩父の象徴武甲山が見えました。陽春を感じた次第です。

前望秩父武山嶽
馥郁梅香誘吟心
登至奥宮微滲汗
鴛鴦相見接春林

○58

桜漫遊 (H22/4/9作)

(仄起式 押韻は、下平声「尤」である。)

先日家内と淡墨桜と下呂温泉のバス旅行に行きま
した。桜も咲き始め、苗代桜も幻想的でした。通商
白帝城の国宝犬山城は満開でした。大いに満足しま
した。リタイアした夫婦が圧倒的に多く、健全な証
左でしよう。

淡 墨 漸 開 吟 客 周
帝 城 繚 乱 舞 翻 蹂
数 多 匹 偶 同 行 好
満 喫 飛 驒 桜 漫 遊

○50

想毛象本邦初公開 (H20/1/19作)

(平起式 押韻は、平声十「灰」である。)

先般丸ビルで世界初公開の三万七千年前の赤ちゃ
んマンモスが公開されました。時空を超えて彼は
我々に何を訴えるのでしょうか？地球温暖化に暫し
想いを馳せました。子々孫々に我等は何を残すべき
なのでしようか。

超 時 自 現 曲 江 隈
幼 象 欲 言 万 里 来
空 地 熱 籠 催 暗 涙
与 天 使 者 警 鐘 哉

○45

諏訪湖上火火(H19/8/21作)

(平起式 押韻は十「灰」である。)

先日家内と、諏訪湖の花火と上高地をめぐるバスツワーに参加しました。浮き栈橋の栈敷席からトワ発の花火を堪能しました。観客は数方だそうですが、矢張りと言うべき花火好きの方ばかりでした。湖面から打ち上げられる半円形の花火と空高い花火のコンビネーションと2キロに及ぶナイアガラが見事でした。来年は何処の花火に行こうかと思案中です。

光輪舞映一声雷
湖上龍走沸快哉
眉月清風炎熱散
恍然滿席納涼台

○43

遊河口湖(H19/4/20作)

(平起式 押韻は、平声八「齊」である。)

河口湖のホテルに宿泊して時ならぬ雪と遅かりし桜を堪能しました。流石に平日ですので、外国人の

他は老夫婦が圧倒的でした。
晚春爛漫雪殘堤
富嶽映河鶯独啼
幻照桜花湖畔宿
静談数組老夫妻

○33

愛蠟梅宝登山(H18/2/17作)

(仄起式 押韻は、平声十一「灰」である。)

先日孫達を引き連れて秩父の蠟梅の名所である宝登山(大和尊命が火に囲まれた時に山犬に助けられたという故事から火止山と呼ばれた。)に登りました。五、六分咲きでしょうか。比較的暖かい日でした。春は近くまで来ているのでしょうか。

火止南斜気快哉
蠟梅香滿看花回
重々秩父春猶淺
雖有冷寒風蕩駘

○31

遊南洋島(H17/1/27作)

(平起式 押韻は、平声十一「真」である。)

同期四家族でグアムに骨休めに行きました。灼熱の太陽、紺碧の海、ゴルフや水上活動に興じ、美味しい料理を食べ、英気を養いました。

灼熱碧海白砂浜
遊子樂餐酌酒頻
暫日忘忙貪惰怠
蓄英活力漲全身

○8

遊湿原(H15/4/30作)

(仄起式 押韻は、下平声一「先」である。)

G Wの先日、釧路湿原にて家内、同僚諸官等とカヌー下りをしました。ノロッコ号の客とのエール交換など大いに楽しみつつ、湿原保護の重要性を感じました。

一水悠悠曲径通
鳥啼鶴舞扁舟漣
車窓振手風流客
無式自然千古伝